

NASDAニュース

1972.6 NO.17 宇宙開発事業団

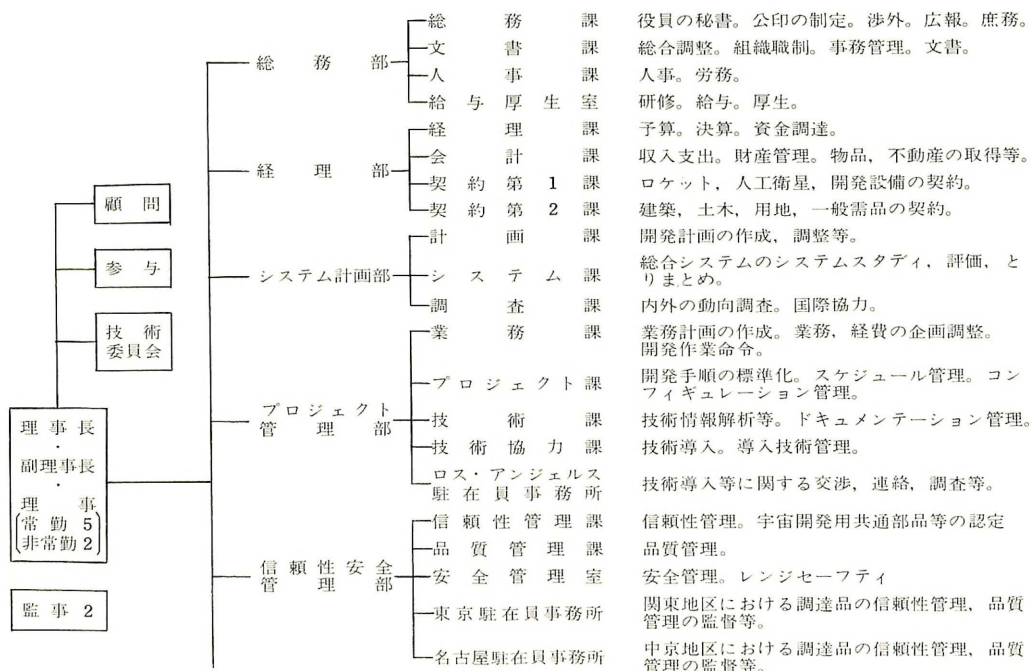
組織の改正について

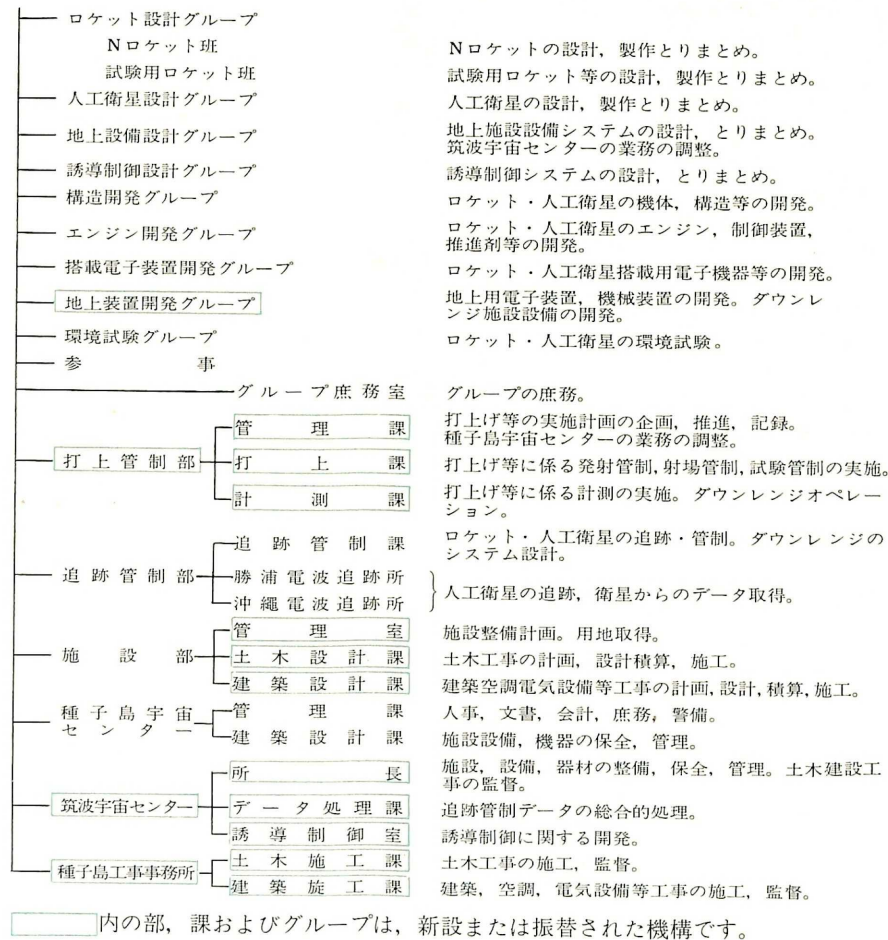
宇宙開発事業団は、開発の進展に伴って増大する業務を円滑かつ的確に処理するため、6月1日付けで組織の一部改正を行なった。

その概要は、①試験管制施設準備室を筑波宇宙センターとして発足させ、ロケット・人工衛星の各種試験、人工衛星の追跡管制等の業務の中核機関とする。②実験計測グループに替えて打上管制部を設置し、打上げ実験業務の中核の組織とする。③種子島工事事務所を設置し、現地において工事の施工、監理、監督等を行なわせる。④地上電子

装置開発グループを地上装置開発グループに改組し、地上装置全般について総合的な開発を担当させる。⑤誘導制御設計グループの業務中、搭載用誘導機器のハードウェア関係、地上用誘導装置関係を他グループに移管する。⑥ダウンレンジの業務処理体制を明確化し、システム設計、施設の整備を推進する。⑦レンジセーフティ業務を信頼性安全管理部の所掌として明確化する。等である。

改正後の新組織は、次のとおりである。





LS-C 6号機の総合機能試験

宇宙開発事業団は、5月29日から11日間、三菱重工業(株)名古屋航空機製作所において、LS-C型ロケット6号機の総合機能試験を行なった。

この試験は、機体、ジンバル、エンジン、ガスジェット制御装置、ジャイロ機器、および搭載電子機器を組合せて、機械的および電気的結合部の整合確認を目的としたものであり、次の項目についての試験を行なった。

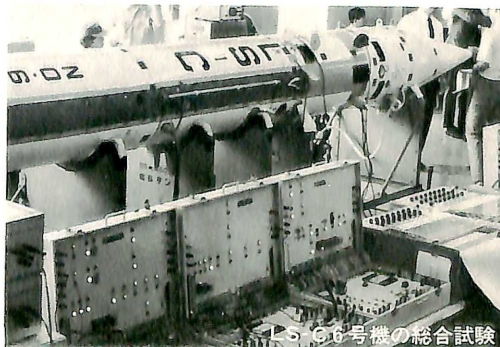
1. 単体試験
2. ノーズコーン前部胴割合せ
ガスジェット装置、搭載電子機器、ジャイロ機器の整合および総合機能試験
3. 機体、テレメータ割合せ
ジンバル、エンジン、搭載電子機器の整合および総合機能試験
4. 全機総合試験 I
制御系の総合機能試験

5. 全機総合試験 II

正常発進シーケンス等の総合機能試験

試験は予定どおり順調に行なわれ、設計どおりの機能をもつことが確認できた。なお、LS-C型6号機は本年夏種子島宇宙センターにおいて打ち上げる予定である。

(ロケット設計グループ)



LS-C 6号機の総合試験

昭和47年度業務計画について

宇宙開発事業団では、宇宙開発委員会が定めた宇宙開発計画に基づいて昭和47年度の業務計画を定めたが、その実施にあたっては、関係機関の協力、システム工学の活用、計画管理の充実等により業務の効率的な推進を図り、必要な時期に必要な事業を着実にこなすこととしている。

また、これらの開発業務の実施によって得られた成果は、その普及利用をはかり、広くわが国の宇宙開発に資するよう努めることとしている。

昭和47年度業務計画の概要は、次のとおりである。

1. 人工衛星の開発

前年度に引き続き、技術試験衛星I型(ETS-I)の開発、衛星チェックアウト装置の整備を進めるとともに、従来開発してきた電離層観測衛星(ISS)のプロトタイプモデルを完成し、フライトタイプモデル製作の準備を行なう。また、技術試験衛星II型(ETS-II)の調査検討を行ない、高々度衛星開発の準備を行なう。

なお、衛星の各種試験のための設備の充実をはかることとし、本年度は環境試験用測定装置、移動型衛星動作試験装置等を整備する。

2. ロケットの開発

人工衛星打上げ用ロケットとして、第1段および第2段を液体ロケット、第3段を固体ロケットとするNロケットの開発を進める。このため前年度に引き続き基本設計を進め、さらにこれをもととして、全段詳細設計を行なうとともに、第1段機体およびエンジンの製作、第2段液体ロケットエンジン、誘導および搭載電子装置、各段々間機体構造部等の試作試験を行なう。

Nロケット上段の飛しょう試験を主な目的とする試験用ロケットの開発を行なうため、第2段用ガスジェット上段構造部の試作試験等を行なう。

また、ロケットの開発および打上げに必要なシステム設計とソフトウェアの開発を行なう。

3. ロケット打上げ実験と種子島宇宙センターの整備

種子島宇宙センターにおいて、JCR、LS-C等の小型ロケットの打上げ実験を行ない試験用ロケットおよびNロケットの開発に必要な資料をうる。種子島宇宙センターの機能の充実をはかるため

Nロケットおよび試験用ロケットの射点設備、誘導用精測レーダ設備、発射管制設備、射場安全設備等を整備するとともに、射点地区ブロックハウス、レンジコントロールセンターの建設およびレーダ、誘導設備を収めるレーダセンター等の施設の建設を行なう。また、第1段液体ロケットエンジンの地上燃焼試験場、固体ロケット推進薬および液体燃料等の貯蔵区域の整地を行なう。さらに、種子島宇宙センター全体に必要な電力、水を供給するため、発電、水源等の施設の整備を行なうとともに、必要な道路の整備、用地の買収を行なう。

4. 筑波宇宙センターの整備

人工衛星の追跡管制、人工衛星およびロケットの開発に必要な各種の試験を行なうための施設設備として、試験管制設備の整備を進める。

人工衛星およびロケットの開発試験設備としては、スペースチャンバ、ロケット飛しょう模擬装置等の整備を行なう。また、前年度に引き続き、音響試験設備、発電電設備等を整備するとともに、これらに関連する建屋、共通施設等の整備を行なう。

5. 人工衛星の追跡管制

沖縄電波追跡所の人工衛星追跡装置の機能の追加、勝浦電波追跡所の道路の改修を行なうとともに各種人工衛星の追跡を行なう。

以上の各業務のほか、筑波宇宙センターに設置した電子計算機の運用、科学技術者等の交流、計画管理、技術資料の収集・整備、職員住宅の建設等の業務を行なう。

以上全体の業務のために、支出予算約187億円、債務負担行為限度額約142億円が計上されている。(プロジェクト管理部)

国際交流の動き

- 4月19日、日本の宇宙開発の調査のため、C N E S(フランス国立宇宙センター)の一行3名が来日。
24日には筑波宇宙センターを視察。
- 5月17日、米国NASAのTAG(Technical Advisory Group)の一行6名が来日宇宙関係者との会談のほか、種子島宇宙センター等を視察。

人事往来

- 岡田 登プロジェクト管理部技術協力課長は、技術導入手続の簡素化およびOMC、TAGメンバー来日関係事項について米国政府との折衝のため、4月24日から5月5日までアメリカ合衆国へ出張。
- 斎藤成文理事は、国連宇宙空間平和利用委員会に出席のため、5月1日から5月24日までアメリカ合衆国へ出張。
- 斎藤勝利ロケット設計グループ開発部員、三戸宰誘導制御設計グループ開発部員は、MATSPプログラムの導入に伴う技術訓練をうけるため、5月7月から6月18日まで米国TRW社で研修。
- 市田 嵩信頼性安全管理部長は、欧米における電子部品の信頼性認証制度の実態調査のため、

5月20日から6月10日までヨーロッパ、アメリカ各国へ出張。

- 島 秀雄理事長は、宇宙開発技術導入の促進についてNASAおよびTRW社、ダグラス社等との会談のため、5月24日から6月4日までアメリカ合衆国へ出張。
- 橋爪 宏地上装置開発グループ主任開発部員、河内山治朗同グループ開発部員および手島満男経理部契約第1課契約第1係長は、液体ロケット用テストスタンドの調査のため、5月31日から6月15日までアメリカ合衆国へ出張。
- 野島正義理事、黒田泰弘システム計画部長、古谷綱博総務部次長は、欧米における気象衛星計画の実態およびGARP計画の推進体制に関する調査のため、6月12日から6月29日までアメリカ合衆国、スイス、フランス、イギリスへ出張。

人 事

- 信頼性安全管理部品質管理課長事務取扱を命ずる。市田 嵩（信頼性安全管理部長）
- 地上装置開発グループ総括開発部員事務取扱を命ずる。錦織 清（搭載電子装置開発グループ総括開発部員）
- 打上管制部長を命ずる。
榊 博（打上管制準備室長）
- 筑波宇宙センターデータ処理課長事務取扱を命ずる。筑波宇宙センター在勤を命ずる。
村松 金也（追跡管制部長）
- 地上装置開発グループ主任開発部員を命ずる。
高橋 正展（地上電子装置開発グループ主任開発部員）
- 施設部次長心得を命ずる。地上設備設計グループに併任する。酒井 康（施設部建設設計課長）
- システム計画部調査役を命ずる。
須藤 信夫（プロジェクト管理部技術課課長代理）
- プロジェクト管理部調査役を命ずる。
福田 広（地上設備設計グループ主任開発部員）
- 人工衛星設計グループ主任開発部員を命ずる。
内倉 謙司（搭載電子装置開発グループ主任開発部員）

- 人工衛星設計グループ主任開発部員を命ずる。
西田 進（人工衛星設計グループ副主任開発部員）
- 地上設備設計グループ主任開発部員を命ずる。
古関 昌次（プロジェクト管理部主任開発部員）
- 搭載電子装置開発グループ主任開発部員を命ずる。誘導制御設計グループに併任する。
常岡 伸祐（誘導制御設計グループ主任開発部員）
- 地上装置開発グループ主任開発部員を命ずる。
菅野 和平、渡辺 千代松、橋爪 宏（地上電子装置開発グループ主任開発部員）山本 六郎（地上電子装置開発グループ副主任開発部員）
- 打上管制部管理課長を命ずる。
津田 明（打上管制準備室管理室長）
- 打上管制部打上課長を命ずる。
吉山 巖（打上管制準備室打上室長）
- 打上管制部計測課長を命ずる。
林 英之介（打上管制準備室計測室長）
- 施設部建築設計課長を命ずる。
川嶋 芳雄（施設部建設施工課長）
- 筑波宇宙センター所長を命ずる。
天野 隆治（試験管制施設準備室長）

（以上6月1日付）

- 人工衛星設計グループ主任開発部員に任用する。
小原 基（6月2日付）

NASDAとは宇宙開発事業団の英文名NATIONAL SPACE DEVELOPMENT AGENCY OF JAPANの略号です。



NASDAニュース
編集発行 宇宙開発事業団

1972・6・NO.17 昭和47年6月24日発行
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
郵便番号 105・電話 03-435-6125